

公民連携白書2006~2007講演会

2006.12.22

根本祐二

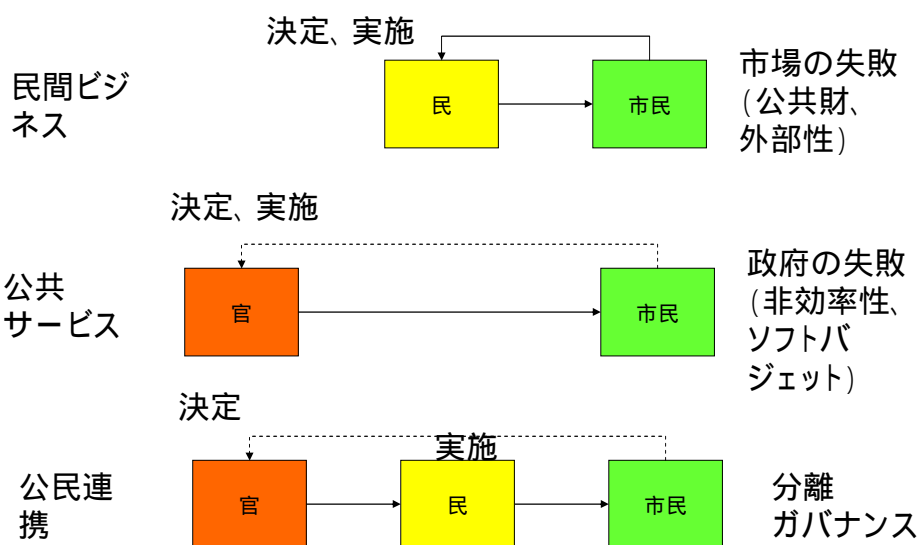
東洋大学大学院経済学研究科公民連携専攻

<http://www.toyo.ac.jp/economy/ppptop.html>

nemoto@toyonet.toyo.ac.jp

- 「官から民へ」は続く、「民でできるものは民で」
- 「民でできないもの」ものは官が何らかの関与する必要あり
- 「官か民か」ではない = “官と民” (公民連携)

公民連携の基本的構造



公民連携の例

■ 公共サービス型（PFI、民営化など）

- 東京都多摩ユースプラザ、警視庁原宿警察署
- 中野サンプラザ民営化



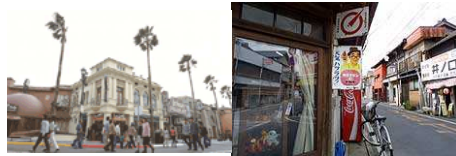
■ 公有資産活用型（土地・建物利用）

- 秋葉原都有地活用、みなとみらい21地区（日産、セガ）
- 千代田プラットフォームスクウェア、世田谷ものづくり学校

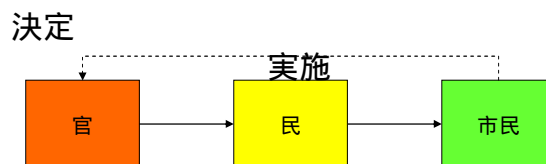


■ 規制・誘導型

- ユニバーサルスタジオジャパン、歌舞伎町ルネサンス
- 会津三島地域再生、豊後高田昭和のまちづくり



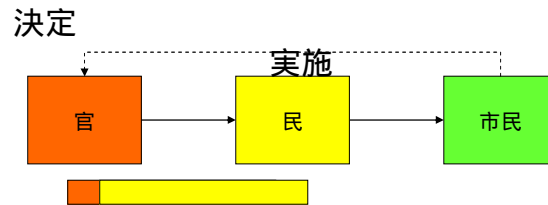
公民連携の失敗 1 目的設定の失敗



- 決定者はあくまでも官
- 決定過程に民や市民の意見は反映されていない
- Better projectがある？



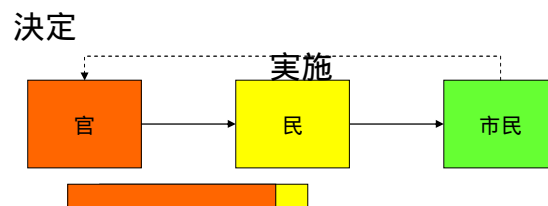
公民連携の失敗 2 民へのアンバランスの失敗



- 民の役割が大きすぎる
- リスクを負担しきれずに
経営破たんする



公民連携の失敗 3 官へのアンバランスの失敗

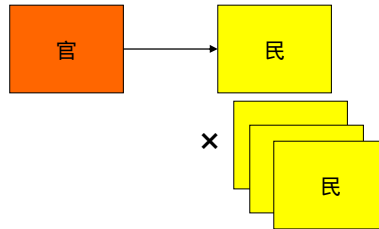


- 官の役割が大きすぎる
- 設計済みで維持管理のみのPFI
- $0 < \text{VFM} < \text{潜在的なVFM}$

以上3つは公民連携以前の問題！



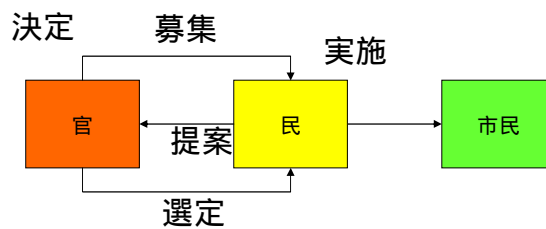
公民連携の失敗 4 非競争・癒着の失敗



- 非競争
- 官製談合、民民談合
- 仲良しクラブ
- 成功事例にも潜んでいる



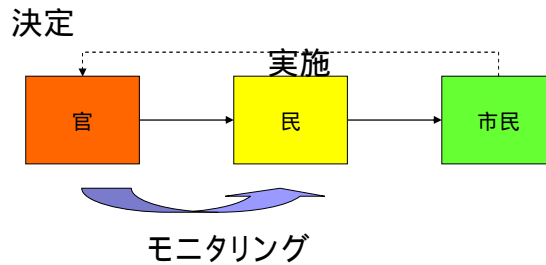
公民連携の失敗 5 メッセージの失敗



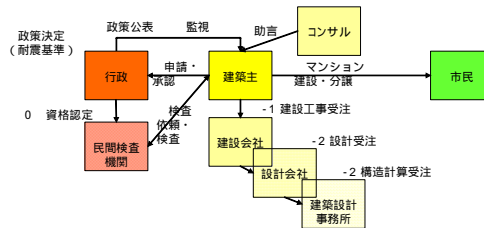
- 募集要項、落札者選定基準が不明確
- 質重視の目的vs価格重視の選定基準
- あとだし



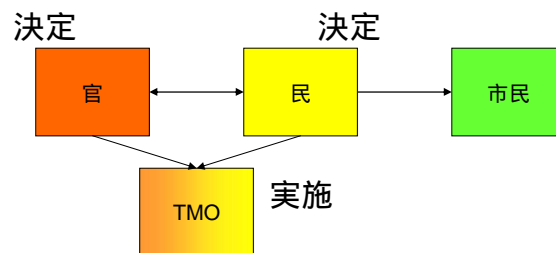
公民連携の失敗 6 ガバナンスの失敗



- 仕組みがあっても守られていない、チェックできない



公民連携の失敗 7 不確実性の失敗

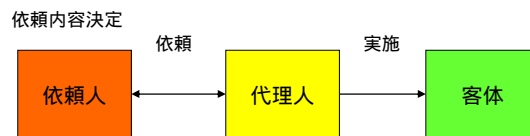


- 将来が不確実であればガバナンスできない
- ベンチャー振興、まちづくりなど



プリンシパル・エージェントモデル

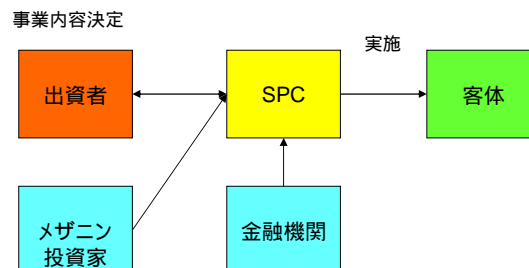
- 企業の株主と経営者、上司と部下などが基本的な分析対象。エージェント(代理人)を機能させるために、プリンシパル(依頼人)は、依頼内容を明確化し、エージェントの行動を監視し、報酬や制裁を含む契約を締結する。



- 官と民の関係も同様。

プロジェクト・ファイナンスのストラクチャリング

- 複数の企業や個人のリスクとリターンの評価と選好を考慮して金融スキームとして作り上げる。



- 官と民の関係、金融を含まない場合も同様に考えられる。